



井原市民病院だより

No.34

井原市の花 パンジー

2017年3月発行

日本医療機能評価機構 病院機能評価 3rdG:Ver1.0 認定

地域とともに歩む、 より愛される病院を目指して



Mission (使命)

地域住民の尊厳を守り、命を守り、
健康増進を支援する

Vision (将来展望)

いつでも安心してかけられる、
身近で愛される急性期病院

今年のスローガン

「おもいやり」の精神で
良質な医療の提供

Ibara City Hospital

井原市立井原市民病院

〒715-0019 岡山県井原市井原町1186番地
TEL 0866-62-1133(代) FAX0866-62-1275(代)
E-mail byoin@city.ibara.okayama.jp

診療科目

内科・循環器内科・外科・消化器外科・整形外科・眼科
小児科・脳神経外科・放射線科・麻酔科・耳鼻咽喉科
リハビリテーション科・婦人科・泌尿器科・皮膚科

発行責任者：合地 明

春暖の候、皆さま方におかれましてはいかにお過ごしでしょうか。

陽光で幕開けした本年も大寒波の襲来、インフルエンザ猛威の洗礼と大変な冬でした。

『一月行く、二月逃げる』の言葉通り早くも三月を迎え、年度末の平成28年度の総括、平成29年度の展望作成に時間を割かれている方も多いと拝察いたします。

私におきましても同様遅まきながら今年度を振り返って来年度あるべき姿を構想している今日この頃です。昨年4月、当院の事業管理者職務代理者 院長を拝命し、前院長の運営方針を踏襲し、『市民ファースト 断らない医療の実践』をスローガンに全職員、一致協力して取り組んでまいりました。

しかし、先般報告されました井原市第6次総合計画報告書のなかで市民の皆様の医療提供体制に関する評価要望において、厳しい評価をいただいております。行政との相互協力において市民の皆様のニーズに応えられる医療提供体制整備を念頭に次年度の方針に思いを巡らせております。

『お・も・い・や・り』の精神で良質な医療の提供』を本年の目標とするとともに、『健康寿命延伸』『地域包括ケアシステムにおける機能分化』という中長期的目標に向けての我々のできることは何か？職員とともに考え進め、市民の皆様の期待される病院像の実現に努力していく所存です。よろしくご協力のほどお願いいたします。



小児科慢性疾患外来を開始

平成28年11月30日から、小児慢性疾患を専門とする診療を開始しました。
診療日は、毎月第2水曜日午後(13時30分～17時15分)です。
担当医師は、新見公立大学特任教授の小田 慈(おだめぐみ)先生です。
また、4月からは『子育てサロン』の時間を計画しております。(本紙裏面掲載)

【先生からのコメント】

慢性疾患に限らず小児科全般なんでも診ます。
『子育てサロン』を計画しております。

最新 MRI 装置を導入いたしました！！

放射線科科長 岡本 吉生

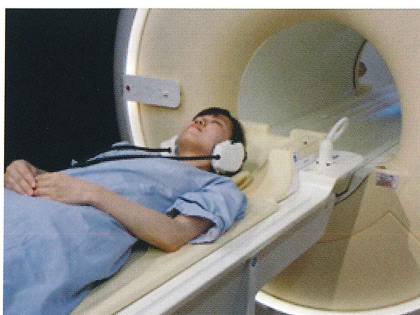
当院放射線科では、平成 29 年 1 月より最新の MRI 装置（オランダフィリップス社製 Ingenia 1.5 T）を導入しました。工事中にご迷惑をおかけした皆様には、多大なるご理解とご協力賜りましたこと御礼申し上げます。つきましては、患者さまをはじめ当院にご関係の皆さまに、是非この最新 MRI 装置をご利用していただきたいと思っておりますので、装置の特徴を紹介させていただきます。

ここがすごい！！新 MRI 装置（オランダフィリップス社製 Ingenia 1.5 T）！！



・ワイドボア

トンネルの直径は 70cm！！当院の前 MRI 機と比べて広く設計してありますので、狭い所が苦手な方も安心して検査を受けていただけます。



・映像システム

ほとんどの検査で約 30 分ほどの時間がかかりますが、映像を見ながら検査を受けていただけます。（※撮影部位によっては映像が見えにくい場合もあります。）



・デジタルコイル

デジタルコイルと言う最新の技術を搭載しており、鮮明な画像が短時間で撮影できます。

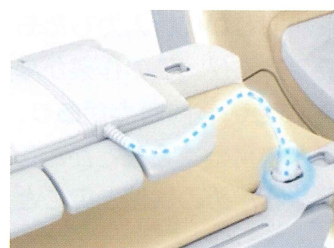


従来コイルシステム



デジタルコイルシステム

従来コイルシステムよりデジタルコイルシステムのほうが短時間かつ高 SNR 画像を得ることができます。



デジタルコイルシステムとは、コイル内で信号変換を全て完了するコイルで外来ノイズ混入がないため高画質を得ることが可能です。

第55回全国自治体病院学会 in 富山

副看護部長 渡邊 栄子

平成28年10月20日(木)～21日(金)富山市で行われた第55回全国自治体病院学会へ当院から6演題エントリーしました。会場はあの市議会で揺れていた市役所のすぐお隣の富山県民会館でした。富山は井原からは随分距離もあり、途中で平田先生の乗車券がなくなるハプニングがあり大変でしたが、無事発表を終えて帰院することができました。

また富山は海の幸が豊富で美味しいものがいっぱいでお腹も満足しました。

当院の発表は次のとおり。

- ・井原市民病院のリハビリテーション科の実績と問題点について 診療部長 平田 哲男
- ・当院地域包括ケア病棟におけるリハビリテーション科の取組み
リハビリテーション科長 中島 均
- ・結核医療相談・技術支援センター利用による地域病院の結核治療受け入れ体制の構築
感染管理認定看護師・主任看護師 柳本 亜由美
- ・当院の退院支援システムの現状と課題～「地域完結型」を目指して～
地域医療連携室 社会福祉士 三宅伊沙子
- ・DI値を用いたDRの適正照射線量と被ばく線量低減効果についての検討
放射線科 診療放射線技師 村木 基義
- ・抗菌薬ラウンド実施によるESBL感染症への効果について
院内感染対策チーム・臨床検査技師 田中 達也



医師事務作業補助者研究会に参加して

DA 田邊 久美子

平成28年9月24日、日本医師事務作業補助者研究会 広島地方会に参加しました。この研究会は、医師事務作業補助者の実務能力の向上、業務環境の改善、医師事務作業補助領域の開発や普及のための研究会で今回で第5回目の方会となりました。

今回の研究会は、『医師事務作業補助者に求められるもの』をテーマに現状と今後について実際に医師、病院経営の視点からの意見を聞くことができました。医師からみた補助者については、平成24年度広島県医師会の勤務医、医療機関に対して行われたアンケート等から「サマリーなどの作業をまかせることはできない」との意見もあり、まだまだ医師から理解されず、普及していないとのことでした。

その背景には医師事務作業補助者が代行入力したものは医師の確認、承認が必要であるが、この作業がなかなかスムーズに行えていないという問題点があり、スムーズで確実な承認システムを構築することが、これからの補助者を有効に活用するための課題とのことでした。

病院経営の視点からみた医師事務作業補助者は、医師の事務作業の補助だけを行うというのは、一旦診療報酬点数表から取りはらって、これからはコミュニケーション能力を活かした医師と患者をつなぐ架け橋のような、もっと違う職種に対して医師をサポートしてはどうか、との大胆な意見がありました。現在、補助者の仕事は「頭打ち」と言われており、次のステップを病院経営側から求められているようでした。また、医師事務作業補助者は明確な資格もなく、医学知識に関してはほとんどの者が素人同然であるため、病院内で医師、看護師に依頼し、医師事務のために「糖尿病について」や「肝炎について」などの勉強会を定期的開催しているという病院がありました。

このように、病院全体で医師事務作業補助者のスキルアップに努めている病院も徐々に増えてきており、今後の医師事務作業補助者への様々な期待と可能性がうかがえる研究会でした。実りある研究会に参加させていただきありがとうございました。



インフルエンザの感染力は非常に強く、いったん流行し始めると短時間で蔓延し、老若男女を問わず多くの人々が感染します。そのため、集団感染（アウトブレイク）することも多く注意が必要です。

今回、インフルエンザ対策の再認識を目的に『アウト

ブレイクを防ぐために～インフルエンザ～』をテーマに第6回 ICT オープンカンファレンスを平成28年11月10日に開催しました。院内外から189名の参加があり、参加者からは「予防について再認識ができた」、「手指衛生の重要性について改めて考えることができた」などのご意見をいただきました。

岡山県では昨シーズンより1ヶ月半早くインフルエンザ注意報（流行シーズン入り）を発令しました。施設内でのアウトブレイクを起こさないためにスタッフ一同、協力して感染対策に取り組みたいと思います。今後も地域医療圏内の皆様と、感染対策に関する情報共有・啓発を目的に研修会を継続していきたいと思っております。

吉備国際大学看護学科統合実習Ⅱを終えて

当院では、平成26年度より吉備国際大学の看護学科の実習を受け入れています。今年も統合看護Ⅱを地域医療連携室で平成28年10月11日～17日、11月14日～20日に2グループ4名の方が実習を無事終了できました。

今回の実習では11月20日行われた病院まつりにも参加するなど志向を変えて地域との関わりを体験できる機会を設けてみました。



実習生の感想

私は井原市民病院での実習を通して、地域で暮らす患者様に必要な支援とそれをスムーズに行うためには様々な職種が連携する必要性を学びました。

病院では患者の入院直後から退院後の生活について考えます。医療職はそれぞれの立場から専門的な意見を出し合い、たくさん話し合いをして、方向性を一致させていきます。その際に大切なのは、本人とご家族の生活背景を知り、気持ちを尊重することでした。医療職は患者様が1日でも早く退院し、もとの生活に戻れるように支援をしていると学びました。

井原市民病院では、それぞれの医療職が専門的な知識を活かし、患者様個々に合わせたアプローチを行っていました。私は、患者様を中心として様々な職種が連携を図ることの大切さを学ぶことができました。

中川 雪美

今回1週間、地域連携実習でお世話になりました。短い期間ではありましたが、多くのことを学ばせていただきました。井原市民病院は、地域の方が退院後も安心して在宅または施設で過ごすことができるよう、地域の特性を踏まえた十分な退院支援のシステムが備わっていました。このことから、井原市は高齢化率の高い地域ですが、高齢者やその家族に優しい病院だと実感しました。また、地域連携の実習ということで、院内の他職種連携に加え院外での他職種連携も見ることが出来ました。どの職種でもやはり患者さんの背景や価値観を大切にし、支援していることに気づきました。また、患者さんや家族の視点にたって援助することが大切だと思いました。実習で見たもの感じたものを大切にし、今後働く中で役立てたいと思います。ありがとうございました。

齋藤 佐和子

今回の地域連携実習では、様々な医療職の方々との関わりを通して、地域全体で患者さんを支えていく仕組みと実際について学ぶことができました。病院のお祭りにも参加させていただき、個々の信頼関係の構築の重要性をあらためて感じました。将来、地元に戻ってきた時に「こんなところで働きたい」と思えるような職場でした。今回の学びを今後に生かしていきたいと思っております。

森川 和葉

私は、今回の実習で、様々な職種の方が関わり、病院と地域が連携をとって、全職種の方が同じ目標で患者さんを支えていく実際について学ぶことができました。将来看護師として働くにあたって、他職種の方と連携をとり、患者さんの希望に添えるよう、支援を行ってまいります。

與那嶺 果林

平成 28 年度病院優良職員表彰式

平成 28 年 10 月 14 日（金）ホテルグランヴィア岡山において岡山県病院協会主催の平成 28 年度病院優良職員表彰式が行われました。当院からは看護部の西江加代子さんと妹尾美智子さんの 2 名が優良職員として推薦され、表彰状並びに記念品が授与されました。

この表彰は長年にわたり病院職員として勤務し、その職務に精通するほか、後輩の指導育成にも尽力し、保健・福祉の分野で貢献したことが認められたものです。



表彰を受けての感想

この度は、病院優良職員表彰のご配慮を頂き、心からお礼を申し上げます。

24年間という長い年月、自分が選んだ看護の道を歩むことができたのも、いつも私を支えてくれている家族、看護師の先輩、同僚、後輩の皆さん、多くの病院スタッフの皆様方によるご指導とご協力があったからだ感謝しております。過ぎ去った年月を振り返りますと、二男を出産、退院直後に病院の採用試験を受けた事を今でも鮮明に思い出します。子育ても終わりやっと周囲の事も見えはじめ自分が置かれていた職場環境は恵まれていたと改めて感じています。これからも患者さんから「ありがとう」の言葉を励みにして、自分の役割が果たせるように精一杯の努力をしていきたいと思っています。本当にありがとうございました。

西江加代子

入職して、28年という長い年月が過ぎてきました。振り返れば、就職して間のない自分が病棟で一人夜勤をするという恐ろしい経験から始まった看護人生でした。これまで頑張れたのは家族、職場のスタッフの支えがあったからだと思います。今回の表彰で、これまでの自分自身の仕事・人生を振り返ることができ、明日からの活力につながると思います。

これからも向上心を失わず頑張っていきたいと思えます。

妹尾美智子



地域医療実習を終えて



岡山大学医学部医学科 3 年

高橋 侑也

この度 8 月 22～26 日までの間、井原市民病院で実習をさせていただきました。一週間という短い期間でしたが、各診療科の見学、カンファレンスへの参加、訪問リハビリ等への帯同など、非常に中身の濃い実習をさせていただくことができました。私は祖父母が井原市在住なので、以前から井原市一帯の医療に興味を抱いていました。今回の実習を通じて井原市の医療事情、また地域医療とは何たるかについて数多く学ぶことができました。

井原市民病院のような地域の中核病院で大切なことは、ただ単に患者さんの病気を治すだけではなく、患者さんの生活自体を良くしていくことだということ学びました。その取り組みの一環として井原市民病院では地域医療連携室を設け、周辺の介護施設等とも連携を取り合いながら、患者さんが退院された後も問題なく生活が

送っていただけるよう、様々な職種のスタッフの皆さんが綿密にプランを練っていることがとても印象的でした。訪問看護、訪問リハビリでは、スタッフと患者さんが単なる医療従事者－患者という関係ではなく、一人一人の人間同士として会話等を通じて心を通わせ、それぞれの患者さんの目標を達成するために尽力されている姿に感銘を受けました。一人一人の患者さん、そしてご家族の希望に合わせてこうした丁寧な対応を行うことができるのも地域医療の魅力だと感じました。

今回の実習を通じて、今まで以上に地域医療に興味を抱くことができました。大学の講義等で、現在の地域医療は様々な問題を抱えているとよく聞かされていましたが、この一週間でそれ以上に地域医療が持つ素晴らしさ、魅力に触れることができたのは自分の将来への大きな収穫となりました。

最後になりますが、このような貴重な機会を提供くださった合院院長をはじめ井原市民病院のスタッフの皆さまに、心からお礼申し上げます。一週間、本当にありがとうございました。



岡山大学医学科 3年
藤原 正樹

今回、8月22日～26日の間、井原市民病院で実習をさせていただきました。各診療科の診察の見学、

各種カンファレンス、消防本部の見学、訪問看護、訪問リハビリ、デイケア施設、認知症患者のためのエスポート病院の見学など、数多くの普段することのできない体験をすることができました。

今回、実習の間に、院長先生をはじめとする先生方や、コメディカルの方々のお話を聞いていくなかで、自分の中で地域医療がどのようなものか分かりはじめてきました。井原市民病院においては常勤医師の数が非常に少なく、非常勤の先生方の力を借りているという現状でした。そのような状況でも、コメディカルの方たちと円滑な連携を図ることで、病院が機能することができているのだと思いました。そのため、自分もコメディカルの人たちと積極的にコミュニケーションを取ることでできる医師にならなければいけないなと感じました。また、訪問リハビリもいろいろ感じるものがありました。訪問リハビリでは、二軒お世話になりました。大事だと思ったことは、療法士さんがおっしゃっていた、その人の家に行ったときに見渡してみてもその人の興味のあることは何か探ってみて、そこから話題を広げたりしていくことが大切だということです。実際にそのように会話していると患者さんが喜んで話している姿を見て、こちらも嬉しくなりました。行ったお宅の人は旅行に興味があり、それをモチベーションにリハビリに取り組んでおられました。目標をもってリハビリに望んでもらう大切さを実感しました。

療法士の方は1人の患者さんのお宅に40分ほどコミュニケーションを取れるそうなのですが、医師はそういうわけにもいかず、短い時間で患者さんの心をつかまないといけないというところに難しさを感じました。そのため、普段から出会う人たちとも意識してコミュニケーションをとって、人として魅力的な医療人になれるよう試行錯誤しながら努力していかなければならないと考えるようになりました。

最後になりましたが、本実習でお世話になりました先生方、スタッフの皆さま、本当にありがとうございました。



岡山大学医学科 1年
田中 愛也

ご無沙汰しております。先日、井原市民病院に地域医療実習の一環としてお邪魔させていただきました。僕は

まだ一年生でして、医学的知識が皆無の状態でも臨ませて頂きましたが、それでもたくさんのお話を学ぶことができました。この実習を通して一番強く感じたのは、井原市民病院で働く皆様の「使命感」です。外来診察を見学させて頂いたり、訪問看護に同行させて頂いたりした中で、皆様の患者さんに対する温かい眼差しと、それを支える「使命感」を強く感じる事ができました。初めていわゆる地域医療の現場を見させて頂きましたが、予想以上に医療レベルが高く、設備も整っていて、地域医療に対する低レベルの医療という間違った偏見を改めることができました。しかしその一方で、医師不足などの問題点も理解でき、地域医療が抱える様々な側面を学ぶことができました。この経験を通して、地域医療に対する知見が大いに広がり、それだけ興味を抱き始めました。5日間、大変ご迷惑をおかけしたとは思いますが、とても楽しく充実した実習を行うことができました。また何かご縁がありましたら、その時はどうぞよろしくお願いいたします。本当にありがとうございました。



新人の紹介

名前 (職名) 担当科 ①抱負 ②趣味・特技

小林 和也 (外科) 外科



- ①コンピューターを使いこなして早く仕事ができるようがんばります
- ②趣味：書

川上 清美 (看護師) 5階病棟



- ① keep smile
- ②特技：特にはないです。
- 趣味：花が好きなのでガーデニングが好きです。

第6回井原市民病院健康まつり

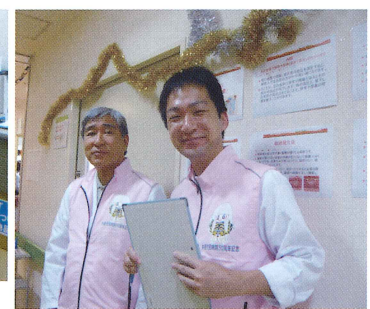
庶務課長 中原 康夫

平成28年11月20日(日)、「第6回井原市民病院健康まつり」を開催いたしました。例年、国道向かいにある井原公民館の文化祭と同時開催でしたが、今年は時期がずれてしまい、参加者が減るのではないかとこの事前の心配をよそに、多くの市民の皆さんの参加がありました。

合地院長の開会挨拶ではじまり、特別講演として、井原市出身の岡山大学大学院保健学研究科教授 齋藤信也先生に「暮らしと健康寿命」と題してご講演いただきました。引き続き、トランペット奏者の崎谷由佳利さん、安倍千晶さん(ピアノ)、高田正弘さん(サクソフォン)によるロビーコンサートを実施しました。

また、昨年に引き続き井原消防署による『はしご車での救出実演』や『救急車の展示・説明』、新しい体験コーナーとしては『電気メス体験』、さらに、岡山大学病院のご協力により、『肝炎・風しん検査』や『認知症検査』などに多くの方が参加され、アンケート結果においても概ね満足いただけたものと思っております。

今年も多くの方々に展示、出店などで協力をいただき、盛会裏に閉会することができました。紙面をお借りして心よりお礼申し上げます。



まいづる保育園だより

「水遊び大好き♪」



見られるようになりました。

7月中旬より水遊びが始まりました。ほとんどの子が保育園での初めての水遊び。最初は少し水が苦手で不安そうにする子もいましたが、少しずつ水にも慣れ、今ではお友達と楽しく水をかけ合ったりして遊ぶ姿が見られるようになりました。

「楽しみにしていた夏祭り」

そして、水遊びと同時にみんなでスイカ割りもしました。大きなスイカを嬉しそうに叩く子ども達。割れたスイカをみんなで美味しく食べ、また一つ夏の思い出が増えました。

8月10日、毎年恒例の夏祭りのイベントがありました。親子で盆踊りを踊り、コーナー遊びでは魚つりやボールプール。そして子ども達が楽しみにしていた露店コーナー。今年はかき氷とフランクフルトを出店しました。



保育士も少なく、限られた空間でのイベントでしたが卒園児の子や園児の兄妹も参加してくれ、保護者同士でもお話している姿が見られました。

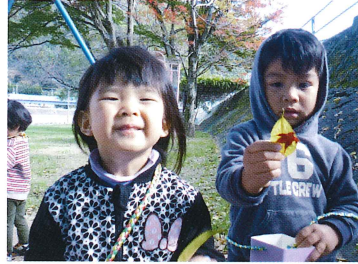
みんなで楽しい時間を過ごすことができ、今年の夏祭りもよりよいものことができました。

と思います。



「落ち葉拾いに行ったよ」

11月9日に近くの河川敷まで落ち葉拾いに出かけました。当日は風が強く寒かったですが、子ども達は元気いっぱい。道中は、「何色の葉っぱがあるかな?」「いっぱい拾いたいなあ。」などと友達や保育者と会話をしながら河川敷まで散歩を楽しんでいました。河川敷に着くと、「わー、いっぱい葉っぱ落ちてー。」「この葉っぱ持って帰ろう。」と思い思いに落ち葉を拾い、手



作りのカバンの中に入れていました。保育園の近くに季節を感じられる場所があるので、子ども達も楽しかったようです。

「頑張った発表会」



12月17日に発表会を行いました。練習期間は1ヵ月程で、子ども達も体調を崩したりと全員揃って練習できる日はあまりありませんでしたが、保育園での練習はもちろん、家庭でも劇や踊りの練習を積極的にしてくれたおかげで、楽しく練習することができました。

発表会当日は、登園後、保護者の方と離れた後に涙が出てしまう子もいましたが、待ち時間に絵本を読んでもらうと落ち着くことができました。そしていよいよ発表会開始の時間。大勢の保護者の方にビックリする子や緊張する子もあり、練習のように上手く踊れなかった子はいましたが、泣く子は一人もおらず保護者の方に頑張っている姿を見ていただくことができました。今年の締めくくりとしてとても良い発表会となりました。

ボランティア・ひまわりの会による花壇活動

12月9日、当院のボランティア「ひまわりの会」の皆さんにより、正面玄関前の花壇整備をしていただきました。毎年、春と秋の年2回実施し、色とりどりのパンジーが5月下旬まで楽しませてくれます。



医療機関のみなさまへ

—栄養指導の依頼を受けています—

生活習慣病の予防・改善に当院をお使いください。

生活習慣を改めるには食事は大きなポイントです。

ご依頼があった患者さんに個別の外来指導を行い、地域の皆様の食事生活のサポートに役立てていただければと思います。お気軽にお問い合わせください。

当院ホームページ“地域医療連携室から栄養指導欄”をご覧ください。



栄養指導のご依頼手順

◎予 約

下記の手順で予約をお願いします。

①当院専用紙「栄養指導依頼票」に必要事項をご記入してください。(ホームページ上より用紙をダウンロードしてください。)

- ・予約可能な日は、月～金曜日(土日祭日を除く)
- 時間 9:30～11:30 14:00～16:00
- 指導時間 初回30分 2回目以降20分以上

②井原市民病院 地域医療連携室宛に「栄養指導依頼票」をFAX63-2840(連携室専用)してください。

予約受付時間(FAX送信)8:30～17:00まで
(土日祝日を除く)

※17:00以降になりますと翌日での対応になりますことをご了承ください。返信をお急ぎの場合は、FAX送信したのち、ご一報いただければ助かります。

③栄養士と日程を調整した後、予約日時をFAXにて返信させていただきます。

栄養指導予約時間30分前に総合受付で受付を済ませてください。

- ・食事内容の調査が必要な場合は、当院の専用紙「食事記録表」へ患者さんにご記入していただき、当日持参をお願いしてください。

◎報 告

指導する際、パンフレット等を使用して患者さんへ個別指導を行います。

栄養指導の内容報告書は、診療情報提供書として、翌日発送にて貴院へお送りします。(翌日休みの場合は、休み明け日に発送)

◎その他

栄養指導受診時に患者さんにお支払い頂く料金

- ・外来栄養食事指導料

☆1割負担→初診：790円 再診：570円
☆3割負担→初診：2,380円 →再診：1,720円

◎受診 当日の流れ



患者さんに持参していただくもの

- ・診療情報提供書
- ・栄養指導指示箋(貴院ご記入枠)に必要事項を記入したもの
- できれば最近の検査結果を持参してください。
- ・健康保険証

(内訳)

初診料	2,820
外来栄養食事指導料	2,600
診療情報提供料(I)	2,500
計	7,920

(円)

再診料	720
外来管理加算	520
外来栄養食事指導料	2,000
診療情報提供料(I)	2,500
計	5,740

問合せ先：栄養管理科 管理栄養士 西本・竹元

糖尿病教室のご案内



◆開催日：第1水曜日 11時30分～

◆場 所：玄関ロビー

4月 5日 糖尿病の運動療法 理学療法士
5月 10日 糖尿病ってどんな病気? 看護師
6月 7日 糖尿病と歯の健康 歯科衛生士

○糖尿病昼食(400円)希望の方は2日前までにお申し込みください。

※食事が不要の方は事前申し込みは必要ありません。



問合せ・食事申込：井原市民病院 内科外来 62-1133(代)

栄養管理科では、安全で美味しい食事づくり、ならびに治療効果の高い栄養管理をめざし、管理栄養士 5 名、調理員 11 名の職員で、患者様の栄養管理を担当しています。

●栄養指導について

患者様個々の疾患に合わせた栄養指導を実施しています。
様々な資料を使い、わかりやすいお話を心がけています。



●糖尿病教室の糖尿病食試食会

当院でおだししている糖尿病食の試食ができます（予約制）。
実際に食べてみると、味付けや分量がわかりやすいとお声を頂いています。

●入院中のお食事について

患者様に、安全なお食事を食べていただけるよう、日々取り組んでいます。

- ・食中毒や異物混入防止のため、衛生管理を徹底しています。
- ・低栄養や食欲不振の患者様には、多職種の医療スタッフで構成された、NST（栄養サポートチーム）の一員として、患者様の栄養状態の改善、QOL 向上を目指して、食事内容を提案しています。
- ・選択メニューを週 3 回実施しています。（一般常食患者さん対象）
- ・行事食は、メッセージカードを添え、季節を感じていただけるような献立にしています。



クリスマスの献立

手作りゼリーを添えました。



元旦の献立

患者さんひとりひとりの名前を書き、年賀状風のカードを作成。「年賀状が届いた！」と喜ばれました。



お餅が食べられない患者さんへお餅風のゼリーでお雑煮をつくりました。



平成 29 年度健康教室予定

開催日：第 3 水曜日（偶数月）

時間：11 時 30 分～ 12 時

場所：玄関ロビー

日時	内容	担当部門
4 月 19 日	この症状にピンときたら MRI ～当院の最新 MRI 画像で解説します～	放射線科
6 月 21 日	脱『肥満』～賢く食べて、体脂肪を減らそう～	栄養管理科
8 月 16 日	足の血管（動脈）の病気を知ろう	臨床検査科
10 月 19 日	みんな持ってる？お薬手帳～飲み合わせ Q & A～	薬剤科
12 月 21 日	健康寿命について	リハビリテーション科
2 月 21 日	食事場面で知っておきたいこと～摂食嚥下障害～	看護部

○事前申し込みの必要ありません。どなたでも参加いただけます。

子育てサロン

平成29年4月から子育てサロンを
下記のとおり開催いたします。
皆さまのご参加をお待ちしております。

日 時：毎月 第2水曜日 13：30～14：30

場 所：井原市民病院 玄関ロビー

内 容：

4月12日(水)

『春に気をつけておきたい疾患』

5月10日(水)

『知っておきたいアレルギーの知識』

6月14日(水)

『知っておきたいワクチンの知識』

担 当：小田 慈 医師（日本小児科学会専門医、



日本小児保健協会理事、日本小児血液・がん学会
暫定指導医、日本血液学会専門医・指導医)

参加費：無料。申し込みは不要です。お子様同伴も構いません。

どなたでもお気軽にご参加ください。

【小田 医師 診療担当：毎月第2水曜日・午後】

井原市民病院